

国立大学法人北海道大学

1

現在の セミナー形式となった経緯

北海道大学では、急速な高齢化や退職後の人生の長期化、教職員を取り巻く環境の変化の中で、教職員自らの生涯生活設計の確立に資することを目的として、毎年、生涯生活設計セミナー（退職準備型）を実施しています。

本学では例年、講師の方を招いて、会議室等で対面型のセミナーを実施しておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインでセミナーを実施することとしました。

なお、セミナーの実施にあたっては、コロナ禍の対応として「Web版生涯生活設計セミナー」をオンデマンド配信により提供している教職員生涯福祉財団に運営を依頼しました。

同財団は、国立大学法人、教育委員会等が主催して開催するセミナーの運営や講師派遣事業等、教職員を対象とした生涯生活設計支援を幅広く提供しており、内容の面においても運営委託先として適当であると考えました。

2

セミナーの実施内容（プログラム等）

日程／令和3年1月18日～2月7日

（動画視聴期間）

対象者／北海道大学に在職中の50歳以上の教職員
及びその配偶者

参加人数／81名

講師／一般財団法人教職員生涯福祉財団
セミナー推進員

プログラム／①退職後の健康プラン・生きがいプラン
（約60分）

②公的年金・退職後の医療保険（約60分）

③退職後の経済生活プラン（約60分）



国立大学法人北海道大学では、
教職員等の退職後の生涯生活設計の準備の一助として、
毎年、生涯生活設計セミナー(退職準備型)を実施しています。



4

参加者の反応・アンケート結果

セミナーの参加者には、受講後にアンケートにご協力いただきました。

アンケートの結果、セミナーの内容については、いずれのプログラムに関しても9割以上の方が「大いに参考になった」または「参考になった」と回答していました。また、講師の説明についても「大変わかりやすかった」または「わかりやすかった」と回答した方が9割以上で、全体として満足度が高かったことがうかがえました。

前述のとおり、令和2年度は各参加者がオンラインでオンデマンド配信されるセミナー動画を視聴する形式で実施しましたが、この点についても様々な感想をいただきました。

3週間の視聴期間を設けてセミナーを実施したことについて、自分の都合の良い時期、場所で受講できて良かったとの声がありました。これまで実施していた対面型のセミナーでは、業務等の都合で日程調整ができず参加できなかった方も多かったのではないかと思います。動画配信によりセミナーを実施したことで、自身の予定に合わせて受講できるようになり、参加のハードルを大きく下げることができたのではないかと考えています。

また、参加者の中には、一度視聴して分からなかった部分を繰り返し視聴して理解を深めた方もいたようで、自身の知識や理解の程度に合わせて視聴することができるのは、動画配信形式のセミナーの大きなメリットであったと感じています。

5

今後の課題

アンケートの結果からも退職を間近に控えた教職員にとって大変役立つセミナーであることが分かりましたが、複数の参加者から、退職間近ではなく早い時期に受講すべきだと感じたとの意見もあり、できるだけ早期に退職後の生涯生活設計に関心を持ち、セミナーへの参加を検討していただけるよう、周知の方法等を検討する必要があると思っています。

また、令和2年度に初めて動画配信形式のセミナーを実施したことで、参加者にとって都合の良い時期、場所、自身のペースで受講できるという面で大きなメリットがあることが分かりました。一方で、セミナーの内容等に関する質問や参加者同士の情報交換等については今回のセミナーではできなかったという面もあり、今後の課題であると捉えています。

今後セミナーを実施していくにあたっては、引き続き新型コロナウイルスの感染状況等の社会情勢に留意しながら、多くの教職員にとって参加しやすく、有意義なものとなるよう開催方法、プログラム内容等を検討していきたいと考えています。

(国立大学法人北海道大学総務企画部人事課厚生労務室福利厚生担当
長濱谷圭汰)

